

●● あらゆる用途で使える、物品搬送ワゴン。

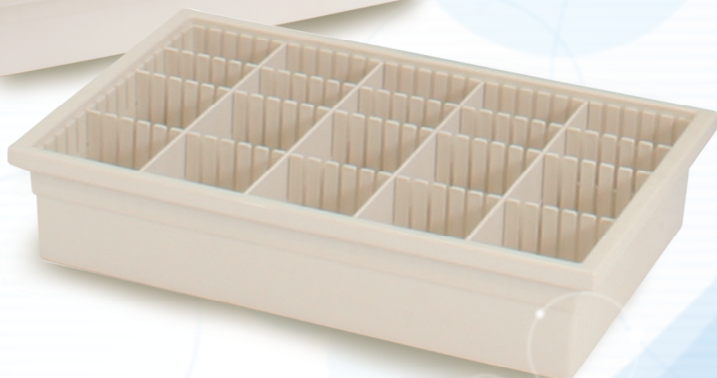
製品別カタログ

ステンレス製

多機能

ユニットシステム

キャビトレーワゴン



実績
「納入場所」
ナースステーション・
検査室・オペ室・診療室・
資材室・院内薬局・
調剤室



病院ごとの異なる使用方法とその事例

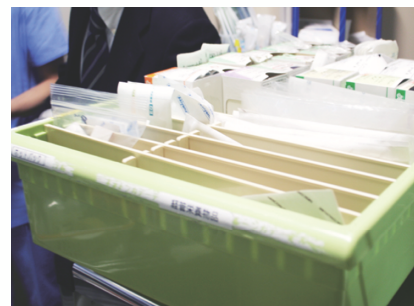


●従来どおり、「物品搬送ワゴン」として使用されているケース

こちらの病院では資材置き場（中央材料室）で補充された薬や備品等を、各病棟や検査室、オペ室などに運搬する「物品搬送ワゴン」としてお使いいただいています。ひとつのワゴンに浅型と深型の2種類のトレーを自由にセットし、用途に応じて仕切り板を使った整理整頓も可能です。また、1回の移動でたくさんの物品を運ぶ事ができるうえ、搬送先のワゴンに「セッティングされたそのままの状態」でトレーごと交換が可能です。これにより、トレーの中身を搬送先のトレーに再度入れなおすといった無駄な時間もなくなり、作業効率も格段に上がります。



※資材置き場には、すでにセッティングされたトレーが準備されています。ここで、搬送先の用途に応じたトレーをワゴンにそのまま移し変えて運搬して行きます。



※入れるものに合わせたサイズに仕切りを作って、しっかり管理されています。一目で在庫の管理ができて補充する際も間違いのないように工夫されています。

●薬を配薬する際の「与薬用ワゴン」として使用されているケース

こちらの某大学病院ではキャビトレワゴンを「与薬用ワゴン」として使用されています。トクヤマのキャビトレワゴンを導入する前は、プラスチック製の「収納ボックス」を与薬ワゴンとして代用していましたが、仕切り板の無い引き出しにただ物を入れている状態だったので、引き出しを開閉するたびに中の物がぐちゃぐちゃになってしまい、整理整頓を心がけても維持できずにいました。いつも乱雑に収納されているうえに掃除も行き届かず、プラスチックという事も重なって看護師から衛生面を心配する声まであがっていました。しかし、キャビトレワゴンを使ってみるとトレーに仕切り板があるだけで、種類別に小分けができるので一目でどこに何があるかを知ることが出来ます。また、トレーを出し入れする際も物同士が混ざり合うことが無いため間違い防止にもつながります。整理整頓も楽にでき、外枠はステンレス製なので病院内の移動時も衛生面で安心です。



※引き出すと、中の備品が動いてぐちゃぐちゃに。

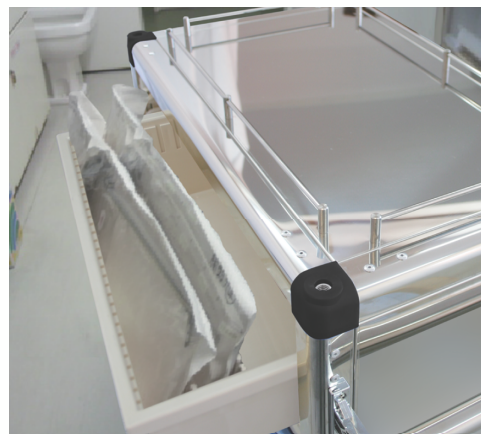


※仕切り板を使ってきれいに整理整頓。

●その他「オペ室専用ワゴン」、「医療機器専用のワゴン」として使用されているケース



「オペ室専用ワゴン」として使われています。オペ室横の手術機材室に配置され、手術で使用する備品（ガーゼやセ션、縫合セットなど）をトレーごとにまとめて収納。そのまま手術前のセッティングとしても使われています。また、ステンレス製なので衛生面でも安心して使用できます。※備品類はそれぞれ袋などに入れられて密封・滅菌されているので、トレーにのせても問題無く使われていました。



検体検査や生体検査などに使われる「内視鏡の専用ワゴン」として使用されています。ユニット式のため、トレーのみの移動・交換が自由にできる事と、仕切り板で整理整頓しそのまま保管・管理できるので検査室に配置されています。

※スペース上、必要時はスムーズに移動されます。